

ごあいさつ

当社はこれまで、地域に密着した環境科学の総合コンサルタントを目指して、拠点の整備を進めてまいりました。2002年には沖縄支店の新社屋を整備し、昨年11月には、念願の九州支店新社屋を開設することができました。

九州は自然環境豊かな地域特性とアジアの玄関口としての発展が期待されており、持続可能な発展を目指して、環境の面からは自然再生、環境リスク、環境アセスメント等への対応が重要な課題となっております。新社屋はこれらの課題に対応すべく、最新の生物実験、化学分析の施設を併設した建物となっております。

新社屋の延床面積は約1,713 m²の地上5階の建物であり、1階に生物実験室、2階に化学分析室、3、4階が事務室、5階が会議室となっており、別棟には調査機材倉庫を設置しております。1階ロビーには鑑賞窓を設け、生物実験室で飼育する生物を観察することができます。また、地球温暖化防止の観点から屋上には10kWの太陽光発電システムを設置しています。

各階のカラーデザインは、「森・川・海」をコンセプトとし、植栽は九州地方の山地（5F）、里地（4F）、低地（3F）、海岸（1F）で見かける種を選定するなど、環境をイメージした新社屋となっております（施設の詳細につきましては本誌P.20-P.21をご参照下さい）。

これを機に、支店職員一同、環境科学の総合コンサルタントとして、より一層の努力を重ね、決意も新たに、九州地域の発展に貢献できる企業として邁進する所存であります。

今後一層、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
下野 雅之